

学科名	マンガ・アニメーション科
コース名	共通
授業科目	デッサン実習4
必選	選4
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	60
単位数	2
担当教員	大槻 透、齊藤里香
実務経験	有
実務経験職種	画家
授業概要	素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備える。
到達目標	描画材料の使用法に始まり、素描の基礎の基礎から学ぶ中で、癖なく、正しい素描の表現を出来るようになる。 次年度の応用へ向けて基礎的な描写力を備え、知識・技術を学ぶだけでなく完成まで描き切れる集中力の持続力も備えられるようになる。
授業方法	対面方式にて実習形式で行う
成績評価方法	課題 80% 課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価 授業態度 20% 作品制作への積極性を評価
履修上の注意	苦手意識があっても手を止めず描き続ける事が重要。 実習授業ゆえに、集中力の無い学生や苦手意識の高い学生が手を止めたり居眠りをする場合が有るので、 逐一巡回、個人指導を行う。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	必要に応じて授業にて資料配布を行う

授業計画	
第1回	室内風景と人物 建物のパース。作者の視点。
第2回	室内風景と人物 風景と人物を矛盾なく一つの空間に描く
第3回	室内風景と人物
第4回	黒画用紙に白で描く静物 黒画用紙に白色鉛筆で光を描く
第5回	黒画用紙に白で描く静物 改めて光と影、物の見方を整理する
第6回	黒画用紙に白で描く静物 丁寧な観察による陰影表現と量感 測量と比較
第7回	静物Ⅱ（金属パイプ、ビニールボール、瓶、格子柄の布） 空間を生かした構図の工夫。様々な接地の理解
第8回	静物Ⅱ（金属パイプ、ビニールボール、瓶、格子柄の布） 基礎形態の反復による基礎力の強化
第9回	静物Ⅱ（金属パイプ、ビニールボール、瓶、格子柄の布） 様々な質感の描き分け 立体感
第10回	自画像写真模写 撮影から始め、出力。グリットによる転写。
第11回	自画像写真模写 ヴァルール。生き写しの様な完成度をを目指す
第12回	自画像写真模写
第13回	大型静物（剥製、牛骨、タイヤ） 大型複数モチーフ。空間把握と構図の工夫。
第14回	大型静物（剥製、牛骨、タイヤ） 質感の違いに注目し完成度高く仕上げる
第15回	大型静物（剥製、牛骨、タイヤ） 一年間のまとめ